

第2回中井町総合計画審議会議事録

日 時	2015年10月14日(水) 15:00~17:00
出席者	資料参照、アルパック:2名 欠席:金子貴司氏(代理出席:曾我商工振興会副会長)
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 協議事項</p> <p>1) 第六次中井町総合計画基本構想(タタキ台案)について</p> <p>2) 基本構想策定に向けたスケジュールについて</p> <p>3) その他</p> <p>4 その他</p>
議 事	<p>●会長、○委員、◎事務局</p> <p>1 開会</p> <p>事務局 ◎権守企画課長より開会のあいさつ</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>会長 ●諸坂会長より挨拶</p> <p>会長 ●資料 2-1(スケジュール)にもとづき、基本構想案は3月議会に提出予定であることから、本日第2回審議会では、基本構想タタキ台案をもとに根幹にかかわる内容の議論を行いたい旨を説明</p> <p>会長 ●第1回審議会議事録の内容について、加筆修正等があれば審議会終了後に事務局に連絡してほしい旨を依頼</p> <p>・勉強会実施報告</p> <p>事務局 ◎審議会委員の発意により、9月5日に総合計画勉強会(自主参加)を9名の委員参加で約2時間開催(当日不参加の委員には当日の資料を用意)</p> <p>事務局 ◎総合計画の基本構想、基本計画、実施計画の中身、総合計画と個別計画の関係、今後求められる総合計画像、自治体の総合計画の状況などについて他自治体の事例も参考にしながら説明</p> <p>事務局 ◎国の地方創生総合戦略策定の義務づけと総合計画の関わりについて説明</p> <p>3 協議事項</p> <p>協議事項(1) 第六次中井町総合計画基本構想(タタキ台案)について</p> <p>・資料 1-1、1-2、1-3、2-2にもとづき、説明および協議</p> <p>【1 基本理念についての説明】</p> <p>事務局 ◎基本理念については中井町の今後10年の普遍的なものになることとして、「活力」「快適」「安心」3つを基本理念としたい</p> <p>事務局 ◎資料 1-2を参照しながら、第五次基本構想と第六次基本構想の継承や改定の内容を説明</p> <p>会長 ●基本構想が出来ると基本計画が出来、これを具体的にしたものが実施計画という三段構えになる。</p> <p>【1 基本理念についての協議】</p> <p>会長 ●私の第一印象として、基本理念の中の「活力」というキーワードはとても大切な内容だと感じました。</p> <p>岸委員 ○「活力」「快適」「安心」の中で一番重要なのは「快適」だと思います。「快適」であれば必ず「活力」も「安心」も生まれるように思います。</p> <p>平井委員 ○私は「活力」をまず一番目にあげていることが良いと思います。</p>

雑色委員	○基本理念はこの3つで良いと思いますが、「活力」ではなく「創造」の方が良いのではないかと いう考えや、自然環境や教育文化をどうするかという視点、自治基本条例を踏襲すれば良い気も します。施策の目標が大切で、基本目標を結びつけるような理念が必要かとも思います。協働や参 加などは大切なキーワードになると思いますが、それが抜けてしまっており、「快適」と「安心」 は非常に近い考えのような気がするので、それなら「協働」の方が良いかなという気もします。
会長	●自治基本条例のお話がでましたが、自治基本条例の前文では素晴らしい自然のことを語り、相模 の歴史ある文化が高いとあり、4条に基本理念が定めてあります。第4条基本理念の第1号が「健 康かつ幸せであり、安全な幸せを実感することができる中井町であること」、第2号では「地域の 文化を継承しながら、自然に調和した生活環境を形成すること」となっています。第1号では安 全と謳われていますが、それが「安心」という言葉に代わっても違和感はないと思います。第2 号は「快適」な生活環境として受けとめられると思います。第3号は「産業の振興に取り組み、 中井町の発展に」というのは「活力」に該当するのではないのでしょうか。産業が振興してくれ れば町が活性化されますから、活力あるまちづくりと言っても良いと思います。
雑色委員	○文化の継承というのはありますか。それは「快適」には含まれないと思います。まちづくりの進 め方には「協働」は入っていますが、まちづくりの進め方と分けると複雑になってしまうのでは ないかという気もします。
会長	●今議論していることは、何を目指しているのかという議論であり、それをどのように実現してい くのかというのが、まちづくりの進め方に位置づけられている「協働」だと思います。
雑色委員	○「協働」は自治基本条例では単なる理念ではないはずで、「協働」は手段とも言っていない。
会長	●「協働」は、まちづくりの進め方に置くので良いと思います。何を指すのかということに関し てが、この3つの基本理念。それらをどのように実現するのかということについては、「協働」で 進めましょうということなので、WHATとHOWを一緒くたにしてしまうと混乱します。例え ば、環境政策を進めましょうという際に、町長の主導のみで進めるのであれば「協働」にはな りませんが、町長の主導だけでなく町長も町民もみんなで考えながら進めましょうというこ とであれば「協働」による環境政策になります。例えて言えば、環境政策のように何を指すか (WHAT) = 「活力」、「安心」、「快適」のまちづくりをするということであり、どのよう に進めるか (HOW) = 「協働」で進めるという考え方で整理されると思います。
会長	●また、第五次基本構想と比較すると、第五次の方が抽象的で漠然としており分かりづらい印象を 受けます。第五次基本構想の3つの基本理念「安心」「共生」「協働」のうち、「共生」と「協働」 では、そもそも議論のステージが異なりますよね。
廣澤委員	○以前の第五次基本構想で基本理念であった「協働」という言葉について、「協働」という考え方自 体が、かつては理念になるような考え方だったと思います。しかし、現在では「協働」は当たり 前のこととして、まちづくりを進める一つの手段となっているので、第六次基本構想タタキ台案 での位置づけで良いと思います。
会長	●確かに中央集権的な時代では「協働」が目的となるような時代があったと思います。現在のよう に「協働」で取り組まないと実現が難しいという社会構造になってくると、「協働」は当然の手法 として進めていくことになると思います。まちづくりカフェや勉強会などもそうした場だと思 いますが、そうした場で「協働」の考え方に基いて何を議論するかとなったときに、第六次基本 構想タタキ台案での「活力」「安心」「快適」をテーマに話し合うことなどが想定されると思 います。このように、基本理念と進め方を分けて考えるほうが、目標が整理されてスッキリすると思 います。
廣澤委員	○伝統文化などに関する内容が、この3つの基本理念のどこに入るのかとなると考えてしまいます が、昔からの伝統などを大切に継承していこうということなどは、ある意味で文化的な「安心」

会長	<p>として受けとめられるとも思います。</p> <p>●「安心」という説明文には「地域」というキーワードもあります。これを広い意味で読みとると、地域の伝統文化やお祭り・風習なども大切にしようといった内容も含めて受けとめることは可能だと思います。</p>
廣澤委員	○これから衰退に向かっては困るので、「活力」を全面に出したほうがまちづくりもみんなにとっても良いのではないかと思います。
平井委員	○「活力」を全面に出すことに賛成です。
重田委員	○「協働」は、住民とともにというテーマが大切であった前基本構想の時代のものだと思います。どのように進めるのかではなく、何を指すのかという内容を基本理念に据えることについて賛成です。そのうえで、3つの基本理念にどのような内容を盛り込むのかについては、次の基本方針などの議論に進むなかで検討してみたいと思います。
会長	<p>●そうですね。基本理念の3つのキーワードだけで議論していても、これ以上は議論が深まりそうもありませんので、議論を進めるためにも、資料 1-1 基本構想タタキ台案の将来像や基本方針などについて事務局に説明していただきましょう。</p> <p>【2 将来像、3 基本方針についての説明】</p>
事務局	◎将来像について：資料 1-1 (P. 2)、資料 2-2 にもとづき、まちづくりカフェでの町民提案などをふまえて作成した内容を説明
事務局	◎基本方針について：資料 1-1 (P. 3)、資料 1-2 (P. 2) にもとづき、基本方針について説明
	<p>【2 将来像、3 基本方針についての協議】</p>
小宮 (熊谷) 委員	○今の説明を聞いて理解できたので、もう少し基本理念についても分かりやすいもののほうが良いと思います。町民のなかには文章をていねいに読まない人もいると思うので、分かりやすいイメージも必要なのかと思いました。
芦田委員	○基本理念から基本方針については、これで良いと思います。具体的な言葉を入れると意味が限定されてしまうと思うので、さまざまなことが包括されている表現になっている点も良いと思います。写真を入れることで、イメージが湧くような表現をすればもっと良いと思います。
会長	●具体的に説明すると、内容が限定され、意味に奥行きがなくなりますし。
廣澤委員	○「移動」というのはどういうことを言っているのでしょうか。
事務局	◎人の移動、物の移動などありますが、端的に言うと交通を踏まえて「移動」という表現にしています。「移動」による快適さを高めることで、交通問題も解消していきたいという意味合いにしたものです。
会長	●ヒト、モノ、カネ、情報が「移動」し行き交うことによって「快適」につながりますね。それがないと「活力」もでませんよね。
廣澤委員	○「移動」には、単なる交通だけでなく、移住という意味も含まれますよね。
会長	●「移動」や「自然」などの基本方針のキーワードを象徴するような写真を挿入すれば、コンセプトが伝わりやすいかも。
城所委員	○基本理念に基づいた将来像ですから、目に見えて将来像のイメージが湧いてくるような写真などでの表現ができると良いと思います。
重田委員	○将来像に、「里山と共生し、魅力を育み高めるまち」とありますが、産業や経済に関する「活力」に関する言葉も盛り込む必要があると思います。それによって、町内の民間企業さんも含めて、中井町の将来のことをもっと考えてくれるのではないかと思います。
会長	●P. 1 では「活力」とあるなか、P. 2 になると「自然」が強調されてしまうところは違和感があるか

	<p>もしれないですね。資料 2-2 に将来像に関して5つの案がありますが、この案については委員のみなさんに持ち帰っていただいて、各委員さんからの提案を事務局に提出していただいてもよろしいでしょうか。アイデアなどをぜひ提出していただき、事務局に集約していただくことにしましょう。</p>
小宮委員	<p>○3つの基本理念の「活力」「快適」「安心」というキーワードについて、「活力」は中井町の自然を壊してしまうような心配もありましたが、「快適」のなかで自然を守っていく方針が出ていますから、「活力」は積極的に自然も守っていくような内容でも使われたら良いと思います。将来像に、里山というキーワードが使われているのはとても良いと思います。ただし、中井町が単なる田舎町ということではなく、産業面での活性化に関する記述も必要だと感じています。</p>
廣澤委員	<p>○自然環境を壊さないように保全しながら産業振興も進めていくという方向で定めていけば、里山保全と産業振興が両立するので良いと思います。今、里山が荒れていますから、人の手が昔のように里山に入って共生できるような、中井町オリジナルの産業振興が望ましいと思います。</p>
咲間委員	<p>○先ほど、将来像の候補案を持ち帰って検討するという話がありましたが、いつまでに考えて提出すればよろしいでしょうか。</p>
会長	<p>●スケジュールから逆算しますと、11月中旬に庁内組織での検討があるということなので、それまでに事務局で整理する必要がありますので、11月初旬くらいまでに検討して頂けるようお願いしたいと思います。</p>
加藤委員	<p>○町民も一体となって参加するような「活力」や「自然」とのかかわり、産業とのかかわりが入ると良いと思います。将来像が、里山と共生だけでは、少し自然に寄り過ぎて弱いイメージがあるかもしれません。第五次基本構想では、右肩上がりの計画でした。また、中井町はグリーンテックもありますから、緑と調和した企業立地というのはこれからも変わらないことだと思います。都市マスタープランを策定する際にも人口計画をどうするかという問題もありました。働く人達と住んでいる人達が一体となって、中井町の良さを表現していくことができればと思います。</p>
加藤委員	<p>○町民も一体となって参加するような「活力」や「自然」とのかかわり、産業とのかかわりが入ると良いと思います。将来像が、里山と共生だけでは、少し自然に寄り過ぎて弱いイメージがあるかもしれません。第五次基本構想では、右肩上がりの計画でした。また、中井町はグリーンテックもありますから、緑と調和した企業立地というのはこれからも変わらないことだと思います。都市マスタープランを策定する際にも人口計画をどうするかという問題もありました。働く人達と住んでいる人達が一体となって、中井町の良さを表現していくことができればと思います。</p>
会長	<p>●企業城下町のような「原子力村」になっても困ります。町民・企業・自然などが調和し共生していくような将来像をつくりましょう。</p>
加藤委員	<p>○将来像の魅力というキーワードの代わりに、美力（みりょく）という造語で表現することもありうるのでは。</p>
会長	<p>●造語でも良いと思いますので、何か良いキーワードが見つければと思います。では次に、将来人口、将来都市構造について事務局より説明していただきます。</p>
事務局	<p>【4 将来人口・将来都市構造についての説明】</p> <p>◎資料 1-1 (P.4) にもとづき、将来人口・将来都市構造について説明</p>
事務局	<p>【4 将来人口・将来都市構造についての協議】</p>
会長	<p>●この資料の図面を町民の方々が見たときに、あくまでもこれはプランのイメージ図であることが分かるように表記されると良いと思います。</p>
雑色委員	<p>○人口目標が平成32年で9,700人となっていますが、現状でも9,746人なのに5年後にも9,700人という人口は確保できるのですか。非現実的なものが5年後の目標となってしまえば、信用されなくなってしまいます。本当はどれくらいの数字になるのでしょうか。</p>
事務局	<p>◎現在、総合戦略のなかでシミュレーションをしながら精査していますので、その結果を基本構想にも反映したいと考えています。</p>
芦田委員	<p>○実績値と目標値とありますが、これは目標値ですか。</p>
事務局	<p>◎中井町の人口推移について、社人研（国立社会保障・人口問題研究所）が算定した人口は、もう</p>

咲間委員	<p>少し低い数字になっています。そこに町として施策を実施していくなかで、期待値も含めて目標値として掲げています。現実性なども含めて、総合戦略のなかで精査していきたいと思います。</p> <p>○何もしなかった時の人口ラインと、施策を実施した際の人口ラインの2つをグラフに表示すると良いかも知れませんね。</p>
会長	●私も同じ考えです。
事務局	◎社人研（国立社会保障・人口問題研究所）の算定した数値では、平成32年には約9,400人、平成37年には約9,000人にまで人口が減少すると推計されています。
芦田委員	○人口推計についてですが、人口の目標値を達成するために目標管理するという形は望みません。先ほどから話している基本理念などをきちんとふまえたまちづくりを進めていくなかで、人口が自然に増えていくのが望ましい形だと思います。
平井委員	○私もそう思います。
会長	●単に人口を増やすことが目的でなく、今ここに住んでいる人達が快適な生活をしていけば、まちの魅力が増し、まちも自然に活性化し、人も自然に増えてくるということが大切だと思います。
小宮委員	○将来都市構造図について、中井町はどこ？と尋ねられることが多いので、中井町の場所を知ってもらい、町を見せることも必要だと思います。人口が今後減っていくなか、住む場所について、その地域をどういう地域にしていくかということも考えていかなければならないと思います。
会長	●中井町の位置について町外の人たちにも知ってもらえるような図面なども必要ですね。
小宮委員	○実際のことで、秦野から二宮にかけてたくさんの方が通っていますが、通っている人のほとんどが中井町を通っていることに気付いていません。看板などもないので分からないのです。
小松委員	○私自身、平塚市に住んでいましたが、中井町を知りませんでした。中井町という名前を知らない人もいると思うので、もっとPRしていく必要を感じております。
咲間委員	○二宮町だと大きな看板があり、車などで通過していても、ここからが二宮町だと分かるのですが、中井町はどこからどこまでが中井町か分からないので、町を見せるという意味で必要かと思います。それが活力にもつながっていくことになると思います。
会長	●只今、いただいたご意見については、基本計画につながる事項になるとと思いますので、中井町をもっとアピールしていこうという内容を基本計画のなかに盛り込むことも含めて検討していきたいと思います。続いて、まちづくりの進め方についての検討に入りたいと思います。
事務局	【5まちづくりの進め方についての説明】
事務局	◎資料1-1（P.5）にもとづき、まちづくりの進め方について説明
事務局	◎3つの柱として「参加・協働」「共感・創造」「情報・共有」が相互に補完し合い、まちづくりの進め方として掲げていることを説明
事務局	◎資料1-2（基本構想の体系比較）にもとづき、基本理念・基本方針・基本計画の関連性を説明
事務局	◎第五次基本構想では基本計画までを定めていたが、第六次基本構想では基本構想と基本計画の区分を明確にさせていくことを説明
事務局	◎資料1-2（重点プロジェクト/重点施策の位置づけ）にもとづき、分野別基本施策との関連で重点プロジェクトの位置づけについて説明
事務局	◎資料1-3（分野別計画の体系見直し案）にもとづき、基本計画の体系見直しについて説明
会長	【5まちづくりの進め方についての協議】
会長	●重点プロジェクトと重点施策について、本日の時点でA案かB案のどちらがいいかという議論ではなく、横断的なプロジェクトが必要な場合、横断的に実施するために重点化する場合などもありうることも含めて今後検討していければと思います。

重田委員	○第五次基本構想の将来像を第六次基本構想で変更する必要があるのでしょうか。水と緑を里山に変更している主旨について説明していただければと思います。
事務局	◎水と緑が重要であるということは、中井町の町民のみなさんの多くがそう感じておられると思います。ただし、キャッチフレーズとして将来像を表現する際に、水と緑という言葉は他市町村でも数多く使われています。中井町らしさを形成する自然の魅力をどう際立たせるかと事務局で検討した際に、里山に象徴される自然こそが中井町らしさなのではないか、神奈川県内で身近なところにこんもりとした里山があるということが中井町の際立った特徴ではないか、と考えました。こうした理由から、あえて里山という言葉将来像のキーワードとして使ってみました。ご審議いただければと思います。
会長	●「活力」＋「快適」＋「安心」＝魅力という考え方についても良いと思いますが、もう少し考え方が伝わると良いと思います。本日の時点では、各委員で持ち帰っていただき次回検討したいと思います。
曾我委員	○第五次基本構想での「共生」「安心」「協働」は分かりづらく、今回提案されている「活力」「快適」「安心」の3つの基本理念のほうが、根拠なども含めて分かりやすいと思います。
会長	●将来像については「活力」「快適」「安心」を含んだ造語でも良いかと思います。基本方針については、各二文字の組み合わせが3つ「拠点・交流」「自然・移動」「地域・共助」について、これらの縦関係「拠点・自然・地域」が場を表現し、「交流・移動・共助」が人の動きを表すといった組み合わせでも読めるという点について、事務教の説明を聞いてなるほどと納得しました。そうした基本方針の注釈を加えると伝わりやすくなると感じました。
小宮委員	○基本計画の図についてイメージ的には、WHATに並んでHOWがあることに違和感を覚えました。WHATを実現するためのHOWだと思しますので、そのあたりが伝わると良いかなと思います。
廣澤委員	○まちづくりの進め方は手段なので、将来像ではなく基本方針と線をつなげる図にすると分かりやすいと思います。
雑色委員 会長 岸委員	○基本計画に矢印でHOWを結べば良いと思います。 ●WHATと分かるように作成されていない第五次基本構想に比べて、何を(WHAT)、どのように(HOW)と整理されている第六次基本構想タタキ台案のほうが分かりやすく良いと思います。
雑色委員	○HOWを記述するのは良いことだと思います。そのうえで、基本方針とまちづくりの進め方が同列に並ぶことに違和感を覚えます。
小宮委員	○例えば、「活力」という基本理念の一つのテーマを積極的に取り組んでいくなかで、「活力」に対応するHOWがあっても良いかと思います。
雑色委員 会長	○言葉として、創造とか協働も「活力」と似たようなイメージだと思います。 ●まちづくりの進め方については、「参加・協働」「共感・創造」「情報・共有」と整理されていますが、基本方針のように縦関係の組み合わせとして「参加・共感・情報」「協働・創造・共有」としても読み取れるような構成になっているのでしょうか。
事務局	◎「共感・創造」については、「創造・共感」のように順序を変えたほうが良いかも知れませんが、「参加・共感(創造)・情報」が取組を進めていく際の重要な要素を表現し、「協働・創造(共感)・共有」がそれらをつうじて生み出される関係性を表しています。こうした基本構想でのまちづくりの進め方を受け形で、基本計画の実現化方策では進め方のポイントなどについて詳しく記述できればと思っております。本日のみなさんのご意見や議論を拝聴していて、基本方針のように、3つの基本理念に対応させてまちづくりの進め方の3つのキーワード(HOW)を説明することができれば、分かりやすくなるのかと感じました。

会長	●そうですね。そうすると確かに分かりやすくなると思いますので、事務局で検討していただければと思います。本日の議論をつうじて、イメージとして輪郭が見えてきた部分があるのではないかと思います。
事務局	協議事項（２）基本構想策定に向けたスケジュールについて ・資料 1-4、2-1 にもとづき、説明および協議
事務局	◎資料 1-4、2-1 にもとづき、これまでの経緯と今後のスケジュールを説明
事務局	◎本日の協議内容を庁内で整理し、庁内組織の中で検討を進めていきたい旨を説明
事務局	◎将来像については 1 1 月第 1 週を目途に委員の方々からご提案をいただき、それを踏まえて 1 1 月中旬からの庁内組織で検討していきたい旨を説明
事務局	◎ 1 2 月初旬の議会での意見なども踏まえつつ、基本構想（素案）として 1 2 月中旬の第 3 回審議会 で提出予定（基本構想（素案）の諮問）
事務局	◎基本構想（案）を基に、1 2 月下旬～1 月中旬（予定）にパブリックコメントを実施し、事務局 で整理したものを 2 月の第 4 回審議会 で提出予定（基本構想（案）の答申）
事務局	◎第 4 回審議会後にパブリックコメントの結果について公表し、3 月議会に最終案を上程予定
	協議事項（３）その他 ・資料 3-1、3-2、資料 4 にもとづき、参考資料として説明および紹介
事務局	◎資料 3-1 ランキング神奈川（P. 1、P. 7～8、P. 34 など）にもとづき、中井町の特徴などを説明
事務局	◎資料 3-2 県西地域の概況にもとづき、近隣市町との傾向などを説明
事務局	◎資料 4 まちづくりカフェ等の開催概況にもとづき、まちづくりカフェや戦略みらい会議での議論 の概要を紹介
	4 その他 ・次回第 3 回審議会：1 2 月 1 6 日（水）15:00～17:00 に決定。各委員に追って開催通知を郵送。